

日本への嫌がらせをエスカレートさせる中国がここまで荒れ狂う国内事情と「中国経済に大打撃を与える報復措置」

Asagei 2025.11.26

高市早苗総理の「台湾有事」に関する発言を機に、中国政府は日本に次々と嫌がらせを仕掛けている。経済に直結する日本への観光旅行の自粛や水産品の輸入ストップに始まり、各種行事やイベントの中止から留学自粛など、その矛先は実に様々。

いずれ先端産業に的を絞り、レアアースの輸出禁止へと進んでいくのではないか。

これ以上、嫌がらせが続いたら、半導体の原材料輸出をストップし、中国経済に大打撃を与えればいい。

日本の原材料が不足すれば、中国は一瞬でEV(電気自動車)、太陽光発電、AI(人工知能)などの事業が滞ることは目に見えている。

中国政府は「台湾有事」を持ち出さなければならないほど、経済の不振に苦しんでいることにある。今や中国経済はコロナ禍(2020年)に始まり、不動産バブルの破綻(2022年)、さらに米中貿易戦争によって坂道を転げ落ちている。

中国経済の成長を支えてきた「中間層」が消費を控え、財布の紐を固く締めているのだ。

これは中国の消費社会が「死に体」に陥っていることを指す。

中国は大まかに分けると、約5億人の都市戸籍と約9億人の農民戸籍から成り立っている。豊かな5億人と貧しい9億人だ。

鄧小平の改革解放(1979年)は、毛沢東時代から中国社会の岩盤になっていた「平等主義」に風穴を開け、10億の国民が「総貧乏人」だった国内に富裕層と中間層を生み出した。

中国の富の40%を握っているのはたった1%の超富裕層と言われるが、海外旅行の有無や教育水準を考慮すると、中間層は約5億人とみていい。

https://www.asagei.com/excerpt/345239?page_type=show

Asagei⁺plus

(団勇人) 2025-11-27 確認 by 河村

河村 反論

まず、習近平の今回の行動 そこまで国内問題で、追い込まれてきたのか、との驚き、残念。トランプやプーチンと同じく、権力立場を保つために、国民の不平の目を海外にむけさせるといふ、低レベルの常套手段。

習近平は、上の二人と違い、もう少し高度な国家理念を持っていると期待したが残念、

中国の富裕層トップ連中が、海外に逃げ始めている、のも動きのひとつ。焦り始めた。

ここまでの認識は、団勇人氏の論調と同じ。

その腹いせに、日本人の低俗な国民感情を仰ぎたてるような中国経済の劣化を、あげつらうのは良くない。

ここからは、小生の意見に賛同できる人は、少なくなると想定するが・・・

戦禍を避けることを、最大の命題とする。

まず、長期的には台湾は中国の領土になることを国際社会で認知(国連決議)すること。例えば60年後に返還。ただし、その間で武力による統合化の動きがあれば、その間分を先送りする。(返還という言葉、不適切?)

世界の半導体産業の中心の、かなりの部分が他国に移動していくであろう。中国が台湾併合を急ぐ、最大の動機で、まず認めないが、そこは交渉事である。

領土問題は、すべて超センシティブな問題であるが、ウクライナと違い、世界政治・経済にとって、重要度は違い、まさに国連決議すべき問題であろう。

今世紀の初めごろ、中国の躍進・横暴ぶりに、眉を顰め、日本人の嫌中感情が高まっていたのが、この 20 年で、せつかくたいぶ和らいできたのが、元に戻るのには残念である。それを煽るような論調には、反対である。マスコミとしての見識・良識を取り戻してもらいたい。

日本だって、前世紀末、Japan as No.1 とともにやされ、有頂天になって、カネでニューヨークの高価な資産を買いあさって顰蹙をかった時代(Japan Anything ⇒ Japan Bashing)があった。成り上がり者の自然な姿である。

50 年、100 年先の日本としては、隣国のパートナーとして、米国よりも中国と(韓国含め)の関係を大切にすべきである。台湾を手に入れたい、という痛切な思いを、理解してあげなくては。

(誤解を避けるために : 20 年、30 年の短期的には、米国と最重要な同盟国)

沖縄問題、靖国問題(分祀含む)、日本中国韓国の領土問題、安定化に向けて、まず日本が変わっていかねばならない。十数年前から KojiMemo で、発信続けてきた。

低俗なポピュリズム、偏狭な国粹主義者の主張は単純明快であるが、流されてはならない。もう少し、大人にならなくては。中国が大国のひとつとして、品格を保ち、世界から信頼と尊敬を得られるように、西側諸国との仲介をはたし、働きかけ、日本が支援していくべきである。

今年(2025) 5 月に平野久美子さん(ジャーナリスト) に、ATclub で台湾の状況を紹介いただいた。

「台湾を識る.pdf」 <https://www.sparj.com/ATclub/data/TaiwanHirano.pdf>

独立国家としての熱い思いは、よくわかる。

しかし、惨事を避けながら移行する手立ては、昨今の世情から、さらに厳しさが・・・

本 Memo File : https://www.sparj.com/kojmemo/KojiMemo52_NoHateChina.pdf

KojiMemo 全体の目次 : <https://www.sparj.com/kojmemo/kojmemo1.htm>

ATclub とは、 <https://www.sparj.com/ATclub/ATclubRev1.pdf>

以上

KojiMemo (52)

第2部 世界戦国時代突入の恐れ、日本はどうする？

日本にもなじみの深い、オードリー・タン氏の存在を思い出す。上の平野久美子さんも懇意にされておられ、たぶん、この流れを抑制するには、「60 年後に台湾を中国に組み入れる」という国連宣言」という単純な発想ではなく、もっと現実的な対応を考えておられるだろう。しかし、彼女の動きは、中国当局も以前から把握しており、あらゆる手立てを使って活動できない状況におかれていることも想像に難くない。つい最近まで、日本政府筋、東大、都立大にもこられていたのだが・・・

戦争をしたがっているのは、中国だけではない。全世界の国民は、9 割以上、戦争反対、平和を目指しているが、一部の upper 層部は、自らの権力を維持するため、もしくは権力を獲得するため、この機会と流れを利用しようとする。今世紀に入って、あちこちで紛争、対立が起こり始めた。WW2 終戦から 2045 年で 100 年を迎える。

人間とは、愚かなものだ。民主国家、強権国家とも同じである。立場の弱い人間は、国を動かす力が無い。民主国家でも、情けないことに悪智慧の働く低俗なポピュリズムで、簡単に誘導されてしまう。

セイタカアワダチソウの盛衰を想起する。50年位前、日本古来の秋のススキの景色が、外来種のどぎつい黄色に、どんどん浸食されていった。20年位続いた後、その黄色の勢いが衰え始めた。自然界の法則(神様?)で、同種の生物が増えすぎると、毒素をだして、仲間を殺しにいくそうだ。

人間は考える葦である。神の摂理に対抗する(緩和する?)知恵は、出せるはずだ。神への冒瀆ではなくて、生命の尊厳を守り、多少の混乱と生存競争を覚悟の上、生物多様性を維持することができる。要は「わがままを言うな!」である。中村 哲 氏の遺言の通りである。周りの人、社会、国 を活かしてこそ、自分も活かされる。

防衛に対する日本の捉え方も、やっとならわりつつある。タブーとされてきた話題も、受け入れざるを得ないムードがでてきた。昨年、学術会議が宣言をだしたのも、その一環であろう。

時期を同じくして、自然災害が、年々過酷さを増してきている。気候変動に起因するものは、長い目で見れば人為災害ともいえる。また自然界の生物(動物・植物)によるものも、自然界にたいする人間の身勝手、搾取に起因するものも少なくない。人間のわがままに対する、しっぺ返しといえる。

この第2部は、防災・防衛の動きが高まる中で、50年、100年の長期的ビジョン“日本のあるべき姿”として、「防災日本」

を中心に掲げるべき、との10数年前から断片的に主張してきたのを、総括しようとしたが、激動が加速する中、そこに至る道筋も大きく変わりそうで、今回は保留とします。

残り17年ある、とは言え、急速に進むボケと、体力・知力の衰え、思考を深められるか、はなはだ心もとないが、最後まで、あがき続けるのも、ちっぽけな我が人生。無意味では無かったと思えるようにしたい。

こんな小生に、お付き合いいただき、ありがとうございます。(遺言のつもりではないです)

2025-12-6 河村幸二



災害分類 赤字: 防災に3次元情報が役立つ

1. 自然災害(天災)
 - 1-1. 気象災害 風災(台風) 降雨災害(洪水) 雪害 酷寒(気温低下)災害 酷暑(気温上昇)災害 霜害 雹害 雷害(落雷) 霧害 湿害、高潮、海水温上!
 - 1-2. 地変災害 震害(地震) 火山災害 地滑り災害(土石流)
 - 1-3. 動物災害 ウイルス、病原菌(伝染病・風土病) 虫害 鳥害 貝害 獣害、植物害
山火事、海面上昇、隕石、オゾン層破壊、PM
2. 人為災害(人災)
 - 2-1. 都市公害 大気汚染 水質汚濁 騒音 振動 汚物・悪臭 地盤沈下 火災
 - 2-2. 産業災害 工場災害(施設災害) 鉱山災害(施設災害) 土建現場災害(施設災害)
職業病・労働災害(人的災害) 放射線障害(人的災害)
 - 2-3. 交通災害 陸上交通災害 飛行機事故 ドローン 船舶災害(火災・衝突・海難)
 - 2-4. 戦争災害、テロ災害 ……意図的に害を与えるもの
 - 2-5. 管理災害 調査粗漏による災害 設計・計画のずさんによる災害
施工不良&経年劣化への管理・補修の不備・怠慢による災害
行政処置の不当による災害 流言ひ語による災害(風評被害)…意図的) SNS
予報警報の間違いによる災害 その他人間の英知の不測による災害

引用文献 <http://db2.littera.waseda.jp/saigai/1-1/1-1-1.htm>
大矢根「社会学的災害の一視点～被災生活の連続性と災害文化の具現化」
『年報 社会学論集』No.5,1992,p.141より。青字は俗称、赤字は筆者が追記したもの。

地球温暖化に由来する自然災害は、長い目で見たら人為災害と言える。

46